



『From7 第39回 歯科衛生士 Meeting』

日時：平成23年2月18日(金) 19:15-21:00

場所：白鳥歯科インプラントセンター2F 研修室

演題

1. 【いつ、どうすれば患者さんは変わるのか？】

歯科衛生士 栗田 聡子（白鳥歯科インプラントセンター）

『人間の生活行動を改善し、新しい行動として定着することは容易ではありません。本人がその気になるようなきっかけを作るタイミングやアプローチについて症例を通してもう一度検討したいと思います。』

2. 【禁煙治療の難しさ】

歯科衛生士 室伏 美里（白鳥歯科インプラントセンター）

『タバコの値上げにともない禁煙を積極的に行う方が増加しています。今回の症例は、初期治療と共に禁煙治療を行ないその難しさを改めて痛感した症例です。もう一度振り返り検討したいと思います。』

3. 【個別の歯間ブラシの保健指導の大切さ】

歯科衛生士 伊藤 有紗（白鳥歯科インプラントセンター）

『私たち歯科衛生士の保健指導は健康を守るためにどうするか個別に考えることが大切である。ただでさえ、ブラッシングの定着も難しく、それに加え、さらに難しい補助道具を受け入れてもらうための保健指導を今回、成功した症例を通し検討していきたい。』

4. 【インプラントメンテナンスの実際】

歯科衛生士 磯川 律子（白鳥歯科インプラントセンター）

『2010年の1年間、メンテナンスに来院された患者さんのデータをとり続けました。どんな患者さんが来院され、どのような状態で過ごされているのか統計にしてみようと思います。又、それらから診療に反映できることはないのか、もう一度考えてみたいと思います。』